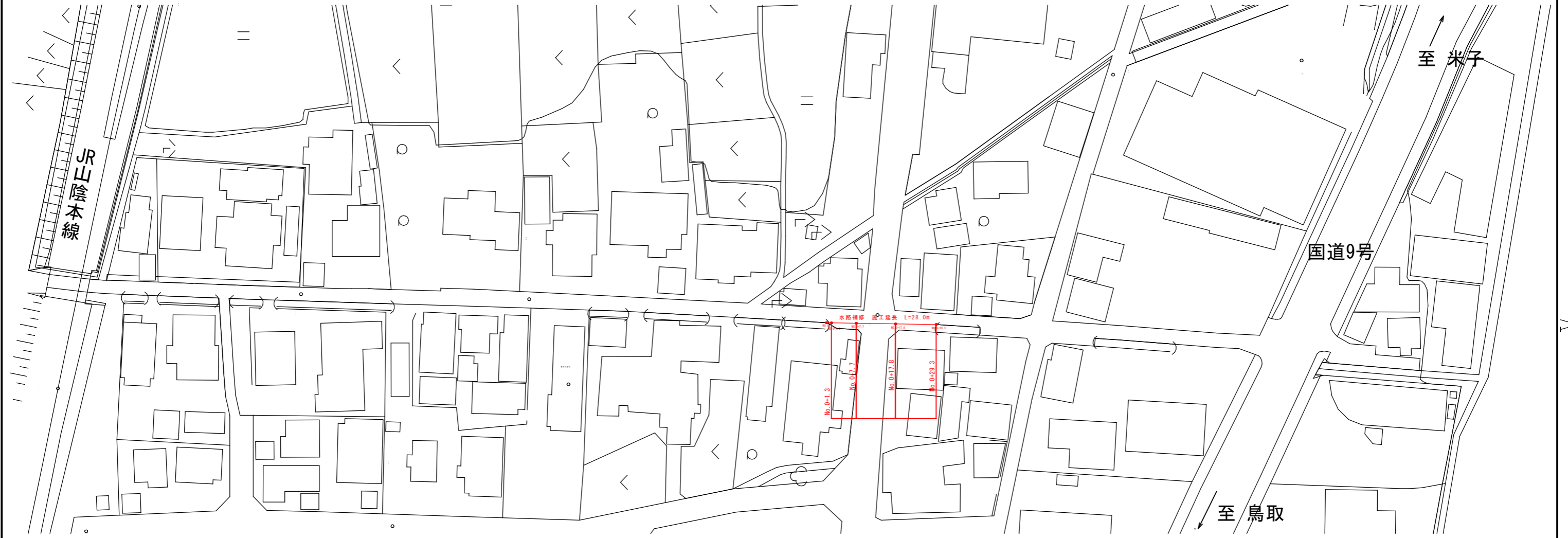


平面図 S=1 : 500



図面番号	第 1 号 4 枚内
図面名称	吉岡地区水路補修工事 平面図
縮 尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

# 補修図 (1)

## <No. 50+1.3~No. 50+8.7>

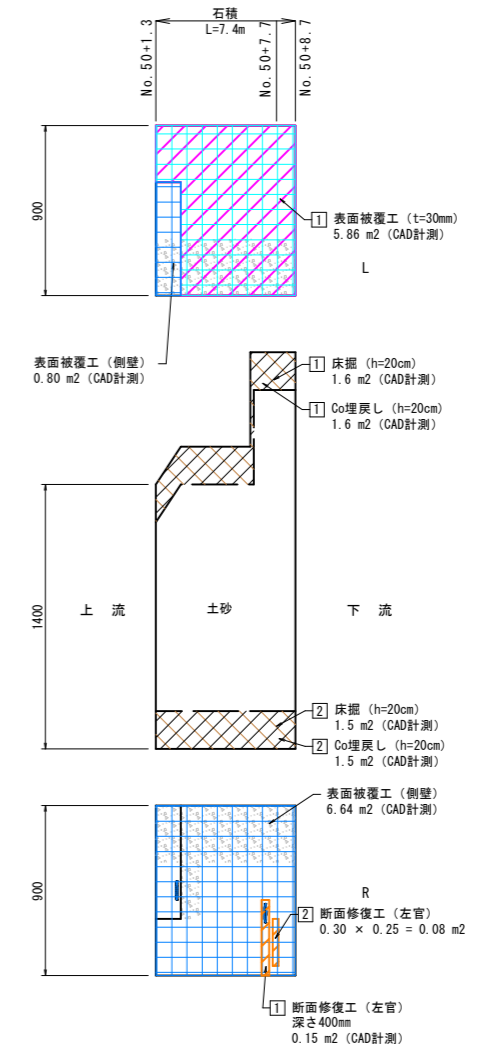
### 凡例

クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm~5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		ひび割れ充填工
粗骨材剥落		
細骨材露出		表面被覆工
粗骨材露出		
石積露出		表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工 (左官) (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損		目地充填工
表面被覆工		表面被覆工 (被覆厚30mm)
		表面被覆工 (側壁: 被覆厚6mm)
		表面被覆工 (底版: 被覆厚10mm)
埋め殺し		断面修復工 (充填)
土砂堆積		土砂撤去

### 水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
①	塩ビ管(φ100)	右岸	No. 50+2.4	
②	塩ビ管(φ100)	右岸	No. 50+7.1	

展開図 S=1:20/1:200



横断面 S=1:20

### 表面被覆工 (石積 t=30mm)

番号	数量 (m2)
①	5.86

### 表面被覆工 (単位: m2)

	t=6mm (側壁)
—	0.80
—	6.64
合計	7.44

### 断面修復工 (左官) 深さ50mm

番号	数量 (m2)
②	0.08

### 断面修復工 (充填) 深さ400mm

番号	数量 (m2)
①	0.15

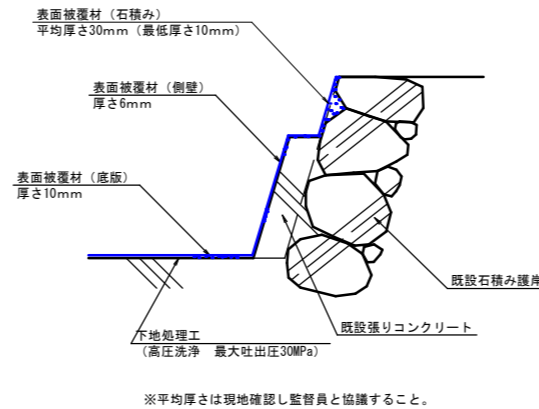
### 床掘

番号	数量 (m2)
①	1.6
②	1.5
合計	3.1

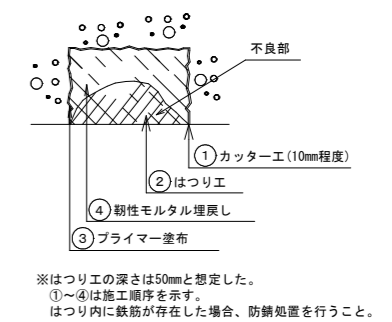
### Co埋戻し

番号	数量 (m2)
①	1.6
②	1.5
合計	3.1

### 表面被覆工 (参考図)



### 断面修復工 (参考図)



図面番号	第 2 号 4 枚内		
図面名称	吉岡地区水路補修工事 補修図 (1)		
縮尺	図示		
製図年月日	令和	年	月 日
写図年月日	令和	年	月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課			

施工上の注意点  
 ・本図面は簡易計測結果を基に作成しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。  
 ・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。  
 ・石積部補修の際は、問題のうきを撤去すること。

# 補修図 (2)

## <No. 50+8.7~No. 50+17.8>

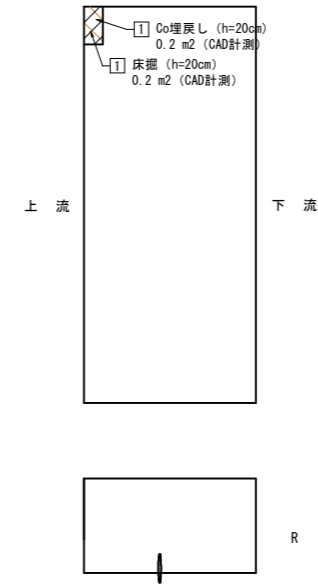
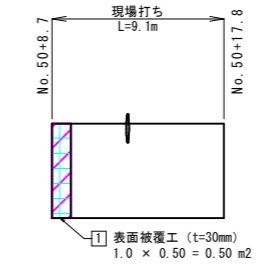
### 凡例

クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm~5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		ひび割れ充填工
粗骨材剥落		
細骨材露出		表面被覆工
粗骨材露出		
石積露出		表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工 (左官) (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損		目地充填工
表面被覆工		表面被覆工 (被覆厚30mm)
		表面被覆工 (側壁: 被覆厚6mm) 表面被覆工 (底版: 被覆厚10mm)
埋め殺し		断面修復工 (充填)
土砂堆積		土砂撤去

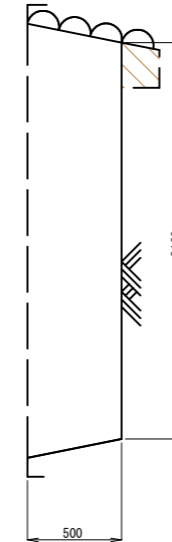
### 水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
①	横断管 (φ150)	左右岸	No. 50+12.7	

展開図 S=1:20/1:200



横断面 S=1:20



### 表面被覆工 (石積\_t=30mm)

番号	数量 (m2)
①	0.50

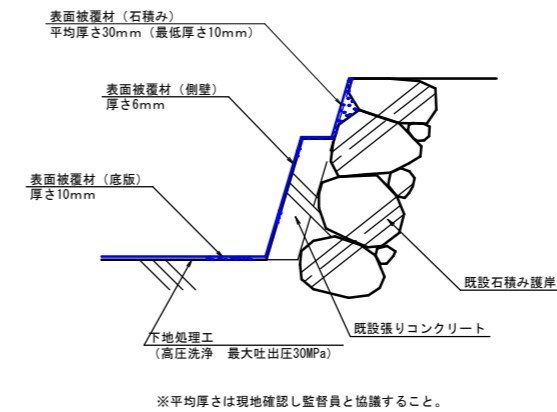
### 床掘

番号	数量 (m2)
①	0.2

### Co埋戻し

番号	数量 (m2)
①	0.2

### 表面被覆工 (参考図)



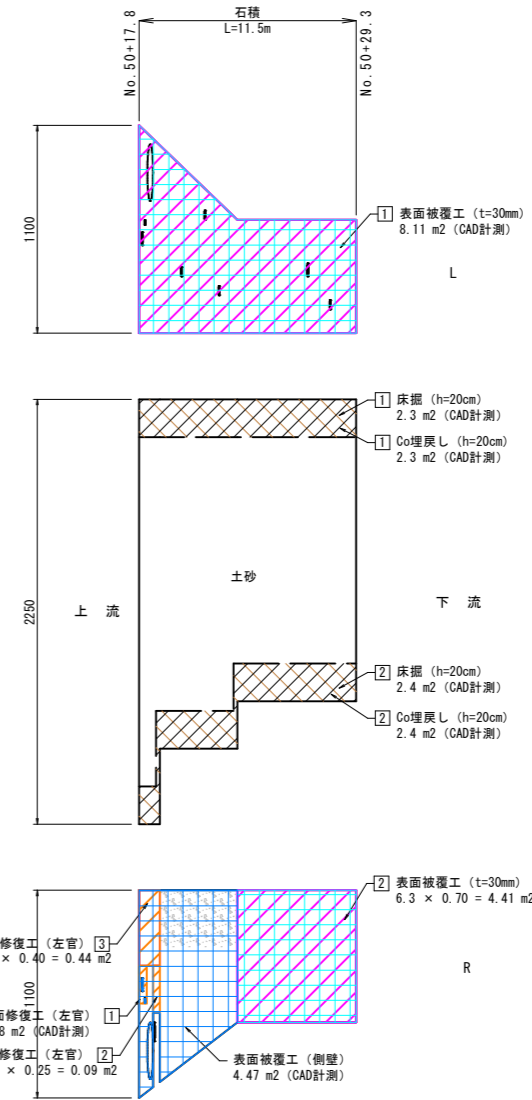
図面番号	第 3 号 4 枚内
図面名称	吉岡地区水路補修工事 補修図 (2)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

施工上の注意点  
 ・本図面は簡易計測結果を基に作成しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。  
 ・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。  
 ・石積部補修の際は、問題のうきを撤去すること。

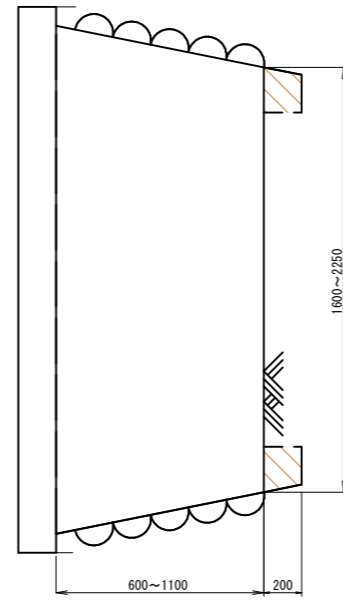
# 補修図 (3)

## <No. 50+17.8~No. 50+29.3>

展開図 S=1:20/1:200



横断面 S=1:20



クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm~5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		
粗骨材剥落		
細骨材露出		表面被覆工
粗骨材露出		
石積露出		表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工 (左官) (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損		目地充填工
表面被覆工		表面被覆工 (被覆厚30mm)
		表面被覆工 (側壁: 被覆厚6mm)
		表面被覆工 (底板: 被覆厚10mm)
埋め殺し		断面修復工 (充填)
土砂堆積		土砂撤去

### 水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
①	横断管 (φ70)	左右岸	No. 50+18.0	
②	横断管 (φ25)	左右岸	No. 50+18.1	
③	横断管 (φ300)	左右岸	No. 50+18.4	
④	塩ビ管 (φ100)	右岸	No. 50+18.6	
⑤	塩ビ管 (φ50)	左岸	No. 50+20.0	
⑥	錆鉄管 (φ50)	左岸	No. 50+21.3	
⑦	塩ビ管 (φ50)	左岸	No. 50+22.0	
⑧	塩ビ管 (φ70)	左岸	No. 50+26.7	
⑨	塩ビ管 (φ50)	左岸	No. 50+27.9	

### 表面被覆工 (石積 t=30mm)

番号	数量 (m2)
①	8.11
②	4.41
合計	12.52

### 表面被覆工 (単位: m2)

番号	数量 (m2)
①	4.47
合計	4.47

### 断面修復工 (左官)

番号	数量 (m2)
①	0.08
②	0.09
③	0.44
合計	0.61

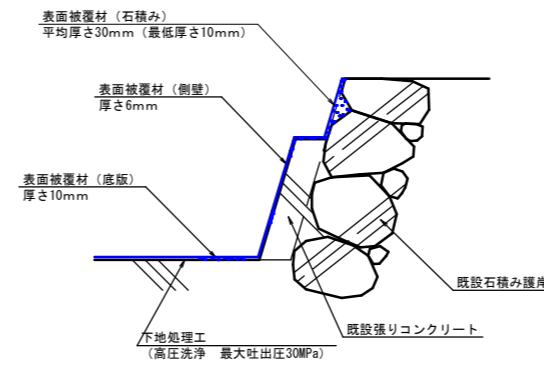
### 床掘

番号	数量 (m2)
①	2.3
②	2.4
合計	4.7

### Co埋戻し

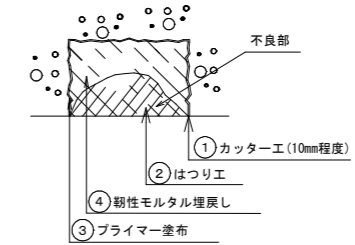
番号	数量 (m2)
①	2.3
②	2.4
合計	4.7

### 表面被覆工 (参考図)



※平均厚さは現地確認し監督員と協議すること。

### 断面修復工 (参考図)



※はつり工の深さは50mmと想定した。  
①~④は施工順序を示す。  
はつり内に鉄筋が存在した場合、防錆処置を行うこと。

施工上の注意点  
・本図面は簡易計測結果を基に作成しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。  
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。  
・石積み補修の際は、間隙のうきを撤去すること。

図面番号	第 4 号 4 枚内	
図面名称	吉岡地区水路補修工事 補修図 (3)	
縮尺	図示	
製図年月日	令和	年 月 日
写図年月日	令和	年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課		